

# 第9回 円空大賞

受賞者の選評および  
作家略歴・作品写真



# 第9回 円空大賞の総評と受賞者

## 第9回 円空大賞の総評

「円空大賞」は、円空の如く土着的で独創的な芸術家に授けられる賞であるが、このような選考基準をもつ賞はあまり例がないであろう。日本の美術は、そのような視点からみて甚だ豊饒であると思われる。すでに著名な芸術家もその受賞で意外な面を見せたり、市井のまったく無名の芸術家が見出されたりすることがある。「円空大賞」が日本の美術の多様性を示す役割を果たしているのをつくづく感じる次第である。

選考委員長 梅原 猛(国際日本文化研究センター顧問)

## 受賞者

円空大賞	エンリケ・オリベイラ (彫刻家)..... 2
円空賞	佐藤 昌宏 (画家)..... 4
	庄司 達 (造形作家)..... 6
	土屋 仁応 (彫刻家)..... 8
	宮本 勉 (現代美術家)..... 10



# エンリケ・オリベイラ (彫刻家)

*Henrique Oliveira*

ブラジル:サンパウロ出身

1973年生まれ

## 選評

パトリシア・フィスター

(国際日本文化研究センター教授)

当初、オリベイラ氏は抽象画家であったが、彼のスタジオ近くの建設現場を取り巻く風化した木製のフェンスに触発され、インスタレーションや彫刻を制作するようになった。大規模なインスタレーションは、巨大で生きている樹木にも似た、有機的で脈動的な造形であり、円空の彫刻を思い起こさせる生の強いエネルギーに溢れている。円空ともうひとつ共通する特徴は、作品のトレードマークである木材の視覚的および触覚的な特性に重点を置いたことである。彼のインスタレーションは、設置場所固有のものであることが多く、アーティストが配置する建造物や環境に応じて想起されるものである。作品を特徴付けるリサイクル素材と「有機美学」は、人間と自然環境の両方に関係しており、特に有機的な成長と崩壊の表現に焦点を当てることで、生と死のサイクルを示唆している。また、彼は世界各国で個展を開催し、高い評価を受けている。この度の円空大賞の受賞により、この若いアーティストによる強力なビジョンを日本に紹介する素晴らしい機会となるはずである。

## 経歴

- 1973 ブラジルのサンパウロ州オーリニョスに生まれる
- 2003 廃材を利用した3Dインスタレーションの創作を始めるようになる
- 2004 サンパウロ大学 卒業  
FAPESP(サンパウロ・ステート・ファンデーション・フォー・リサーチ・サポート) マスター助成金プロジェクト(サンパウロ)
- 2005 プライズ-Visualidade Nascente(誕生のヴィジュアル化) - Centro Universitário Maria Antonia(マリア・アントニア大学センター) 受賞(サンパウロ)
- 2006 個展(Baró Cruz Gallery/サンパウロ)
- 2007 プライズ-第11回イングリッシュ・カルチャー・フェスティバル-ブリティッシュ・カウンシルにて受賞(サンパウロ)
- 2009 ヒューストン、メキシコで作品発表
- 2010 個展「Colagens」(Alejandra von Hartz Gallery/アメリカ) ファウンテンヘッドレジデンスにて受賞(アメリカ)
- 2011 APCAプライズ(Associação Paulista de Críticos de Arte) パウリスタ芸術批評協会 - Destaque do Ano(年間優秀賞) 受賞(サンパウロ)
- 2012 個展「Realidade Líquida」(Galeria Millan/サンパウロ)  
個展「Ursulinens Prolapse」(Offenes Kulturhaus/オーストリア)
- 2013 「La distance juste」出品(Galerie Vallois/フランス)  
「ヌーヴェル・ヴァーグ」出品(パレ・ド・トーキョー/フランス)  
SAMアート・プロジェクトにて受賞(パリ)
- 2014 「Fusion: Art of the 21th Century」出品(ヴァージニア美術館/アメリカ)  
「Centre d'Arts et de Nature」出品  
(ショーモン・シュール・ロワール/フランス)
- 2015 「Crafted: Object in Flux」出品(ボストン美術館/アメリカ)  
「FIAC Hors les Murs」出品(国立自然史博物館/フランス)  
個展(McClain Gallery/アメリカ)、パイオニア・ワークスにて受賞(ニューヨーク)
- 2016 個展(Galeria Millan/サンパウロ)



Tapumes Casa dos Leoes(2009)  
7th Bienal do Mercosul, Porto Alegre, Brazil  
plywood and PVC / photo Henrique Oliveira.



Desnatureza(2011) plywood / 310 x 380 x 360 cm  
Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois, Paris, France  
photo Aurelien Mole.



Transarquitonica(2014)  
wood, bricks, mud, PVC, plywood, tree branches and other materials / 500 x 1800 x 7300 cm  
Museu de Arte Contemporanea, Sao Paulo, Brazil / photo Everton Ballardin



さとう まさひろ  
**佐藤 昌宏 (画家)**  
*Masahiro Sato*

日本:岐阜県出身  
1954年生まれ

**選評**

高橋 秀治  
(岐阜県現代陶芸美術館長)

佐藤昌宏氏の描く絵画世界には熱がある。しかし、その熱は皮膚に暑さを感じる類のものではなく、見る者の感情を波立たせるような熱である。画面全体を埋め尽くすように描かれるものたちは、この画家のもつ生命観の表出ともいえるもので、東洋の古い曼荼羅や地獄絵、あるいは西洋絵画のブリューゲルやウィーン幻想派などを咀嚼したうえで、自らの方法論としてきている。個別のモチーフは、身近な生き物から非日常の生命体まで、ごく小さなものから、巨大なものまで幅広いが、小品であっても全体として見る者に迫ってくる。そこには人間の業ともいえる様々な欲望がうごめいているかと思えば、宇宙への広がりを感じさせる壮大な雰囲気も感じられる。少年時代から好きだったという昆虫、爬虫類、両生類などを描くことは、小さな生き物たちにも生命があり、彼らの世界があることを学んできたに違いない。そして今、彼は、我々人間に内在する異界＝パラレルワールドを描いて見せてくれている。

**経歴**

- 1954 岐阜県岐阜市に生まれる
- 1980 東京藝術大学大学院美術研究科(油画) 修了
- 1981 「千葉県新進作家展」出品(船橋西武美術館/千葉)
- 1983 個展(真和画廊/東京)
- 1984 「浅井忠記念賞展」出品(千葉県立美術館/千葉)('97)  
「大橋賞受賞作家展」出品(高島屋/日本橋・難波)
- 1985 「浜松・私のイメージ」出品(浜松美術館/静岡)  
「安井賞展」出品(西武美術館/東京)('86、'87、'92、'93)  
個展(ギャラリーNAF/愛知)
- 1986 「セントラル86」出品(セントラル美術館/東京)('87)
- 1988 岐阜県文化活動等特別奨励賞 受賞、中日展 準大賞 受賞  
個展(ラブコレクションギャラリー/愛知)('91)
- 1990 「幻想の力」出品(宮城県立美術館/宮城)、  
伊藤廉記念賞展記念賞 受賞
- 1992 「東海の作家たち展」出品(愛知県芸術文化センター/愛知)
- 1993 「絵画の今日」出品(三越美術館/東京)('95、'97)  
「伊藤廉記念賞展」出品(招待出品)(愛知県美術館/愛知)  
「中日展受賞作家展」出品(名古屋市博物館/愛知)
- 2001 個展(ギャラリー141/愛知)('03)
- 2002 個展(ギャラリーパスワールド/岐阜)('04、'12)
- 2005 個展(マキイマサルファインアーツ/東京)
- 2007 「まじわるせかい展 天野裕夫・佐藤昌宏」(スペース大原/岐阜)
- 2010 グループ展(極小美術館/岐阜)('11、'13、'16)  
「ROUGH MIX展」出品(晩翠画廊/宮城)
- 2011 「第20回 富嶽ビエンナーレ展」出品(静岡県立美術館/静岡)  
個展(Galerie41 VERNEUIL/パリ)
- 2012 個展(極小美術館/岐阜)
- 2013 第3回青木繁記念大賞西日本美術展(石橋美術館/福岡)
- 2015 「現代の美術作家10人展」出品(岐阜現代美術館/岐阜)



地のいきもの(彼方へ)(2012)  
キャンバス、テンペラ / 194 x 130.3cm / 作家蔵

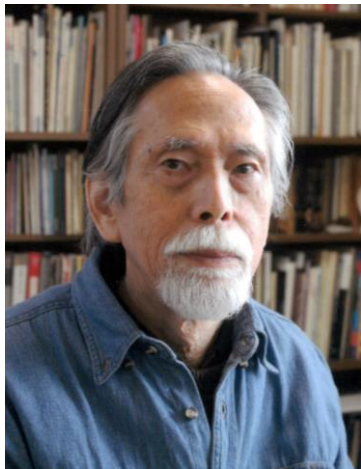


地のいきもの(池のほとりで)(2016)  
キャンバス、テンペラ / 162 x 194cm / 作家蔵



地のいきもの(2016)  
キャンバス、テンペラ / 112 x 145.5cm / 作家蔵

# 第9回 円空賞



しょうじ さとる  
**庄司 達 (造形作家)**  
*Satoru Shoji*

日本: 京都府出身  
1939年生まれ

## 選評

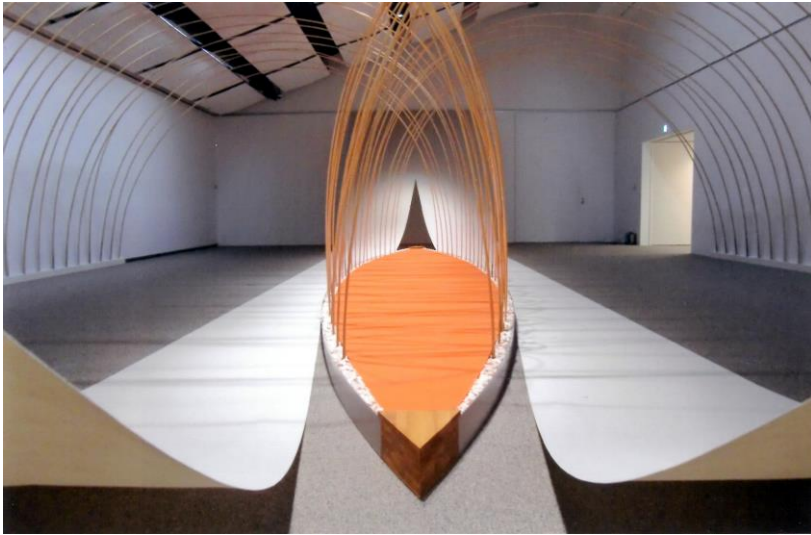
新宮 晋(造形作家)

1960年代後半、日本ではポップ・アート、サイケデリック・アートなどの、アメリカ直輸入の多彩なアートの嵐が吹き荒れていた。こんな最中、私はひっそりと咲く白い花のような庄司達氏の作品に出会った。シンプルな四本柱のフレームの中に、白いハンカチのような布を水平にピンと張ったものが四、五層重なった、ただそれだけの作品だったが、周囲の喧噪の中で彼の作品は、清楚な凜とした存在感を放っていた。

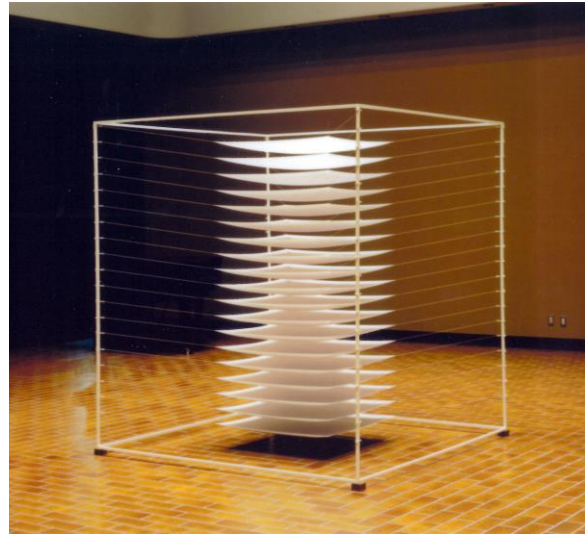
あれから半世紀近く、彼はいまだに様々な方法で、布を張り続けている。布を張る造形というのには、軽さ、透明感、即興性といった、はかないリズムがある。その上、宗教的とは言わないまでも、どこか儀式のような緊張感が漂う。庄司氏は、長年にわたって布だけを素材に、空間と造形との葛藤を続けてきた。そして今、彼は、布を幕として空間を区切ることで、内側と外側のスペースの意味を表現しようと挑戦しているように思える。

## 経歴

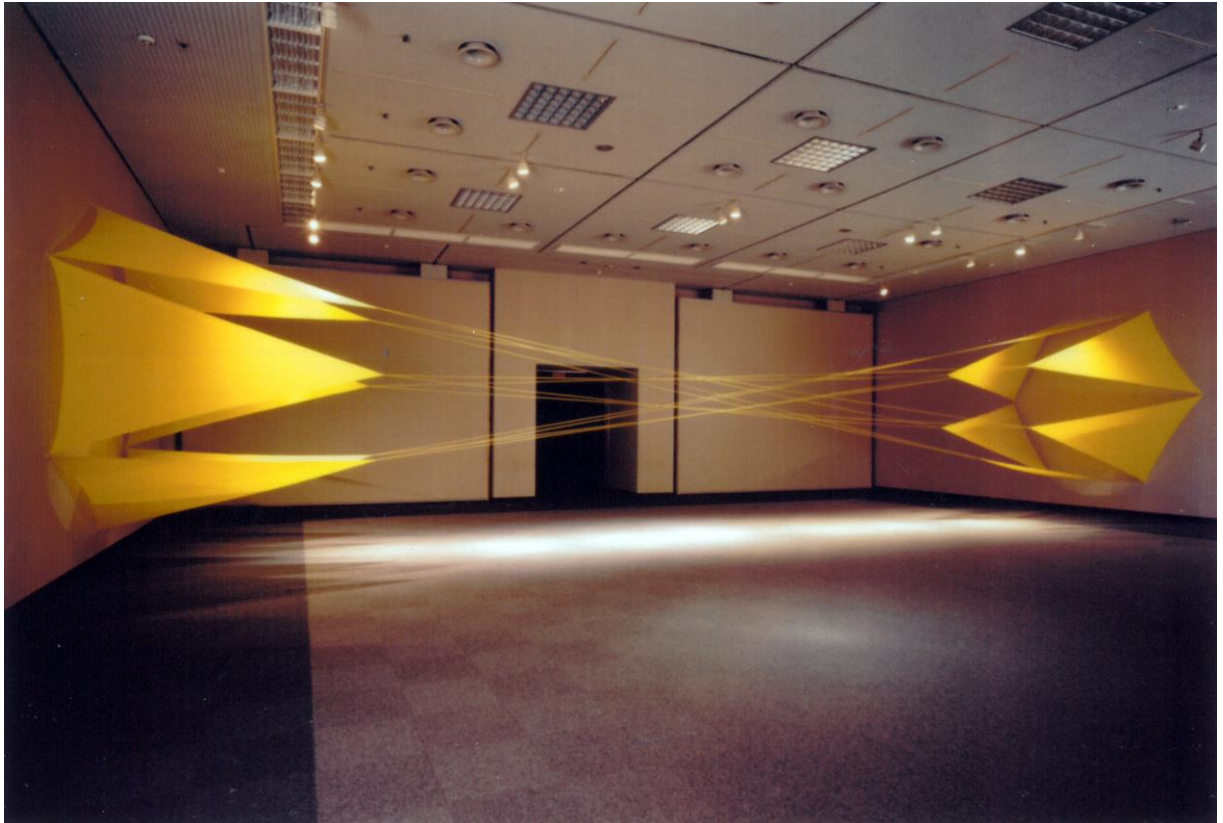
- 1939 京都府京都市に生まれる
- 1964 京都市立美術大学(現芸術大学)専攻科彫刻専攻 修了
- 1968 個展「白い布による空間」(桜画廊/愛知、galerie16/京都)  
「現代美術の動向」出品(京都国立近代美術館/京都)
- 1970 「第10回日本国際美術展」出品(東京都美術館/東京)
- 1970 サントマルガレーテン彫刻家シンポジウム'70  
(ブーゲンランド/オーストリア)
- 1977 「アートナウ'77」出品(兵庫県立近代美術館/兵庫)
- 1979 第4回名古屋市芸術奨励賞 受賞  
個展「布・空間」(名古屋市博物館ギャラリー/愛知)
- 1991 「Seven Artists 今日の日本美術」出品  
(サンタ・モニカ美術館/U.S.Aほか巡回)
- 1994 「LIGHT AND SHADOW JAPANESE  
ARTISTS IN SPACE」出品(ノースダコタ美術館/U.S.A)
- 1995 個展「浮かぶ布ー柔空間の散歩ー」(新潟市美術館/新潟)
- 1996 個展「布・赤い河」(下山芸術の森・発電所美術館/富山)
- 1998 「久野真・庄司達展」出品(愛知県美術館/愛知)
- 1999 名古屋芸術大学美術学部造形科教授(～2010.3)
- 2001 個展「Cloth-Behind MEIRIN」(京都アートセンター/京都)
- 2006 個展「Cloth-Behind ISE」(伊勢現代美術館/三重)
- 2009 個展「空間軸の内と外」(ガレリアフィナルテ/愛知)
- 2010 平成21年度愛知県芸術文化選奨文化賞 受賞  
個展「空間の航行」(碧南市藤井達吉現代美術館/愛知)
- 2011 第二回創造する伝統賞 受賞(日本文化藝術財団)
- 2014 個展「庄司達展」(ギャラリー数寄/愛知)
- 2016 個展「庄司達展」(名古屋画廊/愛知)



空間軸の内と外 - 空間の航行(2010)  
オレンジ化織布、竹材、木材、砂利、金属板  
330 x 752 x 1688cm / 作家蔵



白い布による空間'68-7(1968)  
白い布、糸、白塗装金属フレーム  
210 x 202 x 202cm / 新潟市美術館蔵



Beyond the sailing '95(1995)  
黄色化織布、ひも / 360 x 1280 x 360cm





つちや よしまさ

## 土屋 仁応 (彫刻家)

*Yoshimasa Tsuchiya*

日本:神奈川県出身

1977年生まれ

### 選評

山本 容子(銅版画家)

檜の木肌は滑らかで、光や芳香を放つ。我々はその高貴さを、建築素材や桶といった日常生活の道具からも感じている。

土屋仁応氏は、仏師の技をもって、この素材から幻獣を彫り出した。すると、とたんに檜が光や芳香とともに霊性をもっていることにも気づく。それは、幻獣といったテーマが神聖だということではなく、檜が染んでいた像が現れたように感じるからだと思う。

生まれたての新鮮さは、手で触れることをためらわせる。だからこそ、この像に魅了されて、あらゆる角度から見ることによって、眼で像に触れるしなくなる。

水晶で作られたという幻獣の眼は、見る者を訝しく見る。見る者もまた訝しく見つめ返す。この眼と眼の交流を続けるうちに、有難というセンスがたちのぼった。

目の前に在るのに、有るはずのない像のように思える彫刻作品から、土屋仁応氏と檜の神秘的な由縁を感じた。

### 経歴

- 1977 神奈川県横須賀市出身
- 2001 東京藝術大学美術学部彫刻科 卒業 卒業制作 サロン・ド・プランタン賞
- 2003 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻  
保存修復彫刻研究分野修士課程 修了 修了制作 サロン・ド・プランタン賞
- 2007 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻  
保存修復彫刻研究分野博士課程 修了
- 2008 特別展「ANIMAL FANTASY イヌイト・アート&動物たち」  
(北海道立近代美術館／北海道)  
企画展示「ワット！ どうぶつ What? アート展」  
(十和田市現代美術館／青森)
- 2009 個展「夢をたべる獺が夢みる夢」(MEGUMI OGITA GALLERY／東京)  
個展「彫刻新時代vol.3 土屋仁応展」(日本橋高島屋美術画廊X／東京)
- 2010 特別展「創造と回帰 現代木彫の潮流」  
(北海道立近代美術館／北海道)
- 2011 企画展「集まれ！ おもしろどうぶつ展」(横須賀美術館／神奈川県)
- 2012 特集展示「横須賀・三浦半島の作家たち」(横須賀美術館／神奈川県)  
「The Power of Japanese Contemporary Sculpture」出品 (AKI GALLERY／台湾)  
個展「聞耳の森」(MEGUMI OGITA GALLERY／東京)
- 2013 個展「彩色木彫 土屋仁応展」(高島屋／東京日本橋・大阪・新宿)
- 2014 「Crafting a Continuum: Rethinking Contemporary Craft」(Bellevue Arts Museum／ワシントン)  
「Japanese Contemporary Art」(The James Christie Room／香港)
- 2015 個展「猫の集会」(日本橋三越本店 本館6F 美術サロン／東京)  
個展「土屋仁応 新作彫刻展」(MEGUMI OGITA GALLERY／東京)  
「高松市美術館コレクション展」(高松市歴史資料館／香川)
- 2016 東京都美術館 開館90周年記念展「木々との対話-再生をめぐる5つの風景」(東京都美術館／東京)  
個展「命の木」(MEGUMI OGITA GALLERY／東京)



猫(2015)  
樟、ボロシリケートガラス、彩色(玉眼制作 / 田中福男)  
34 x 17 x 19cm / 個人蔵



聖観音菩薩立像(2014)  
榿、樟、水晶、彩色  
118 x 35 x 35cm / 天瑞山大聖寺(静岡県沼津市)蔵



竜(2015)  
樟、ボロシリケートガラス、彩色(玉眼制作 / 田中福男)  
80 x 49 x 30cm / 個人蔵



みやもと つとむ

## 宮本 勉 (現代美術家)

*Tsutomu Miyamoto*

日本:富山県出身

1930年生まれ

### 選評

長谷川公茂(円空学会顧問)

宮本氏の作品は陶芸、木彫、レリーフ、紙粘土作品など多種多彩である。陶芸作品などは、粘土を板状に伸ばし丸め、土偶のようなものもあり、祈る人物もあり、また楽しそうに踊っているものもある。しかしよく見ると花器のようでもあり、宇宙人が踊っている様子とでもいうか、不思議な造形になっている。

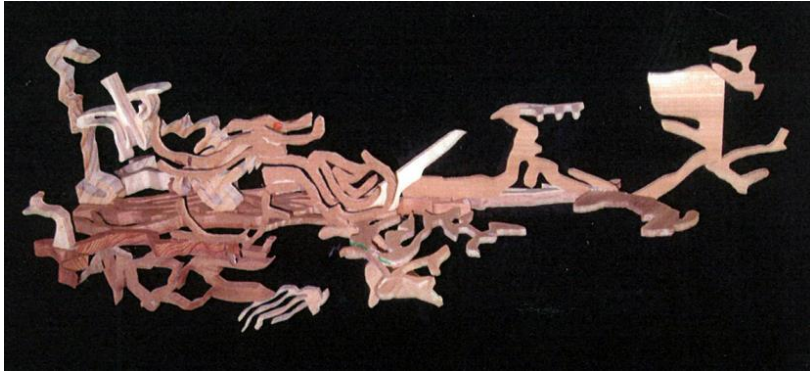
日本では、古くから紙工芸として和紙を上手に使った作品があるが、宮本氏は子供たちの使う紙粘土を駆使した珍しい楽しい作品も作っている。

また最近、使用に堪えないような粗末な板切れを、電動の糸鋸で切って作ったレリーフなどもある。これらは一度に二枚、陰と陽のレリーフとなり、どちらも斬新な美しい作品になっている。

どうやら宮本氏は自然に造形作品が次から次へと湧き出る、自由自在な精神の持ち主のようで、摩訶不思議な造形作家であると思う。

### 経歴

- 1930 富山県富山市に生まれる
- 1945 富山市大空襲により家屋焼失、富山市大山町に移住  
謡曲(宝生流)を習う(~1955)
- 1953 「富山県勤労者美術展」奨励賞 受賞  
「富山市美術展」一等賞 受賞  
「富山県美術展」入選  
「北陸三県選抜美術展」奨励賞 受賞
- 1956 東京桑沢デザイン研究所 卒業  
ウインドウ、見本市、モーターショー等のディスプレイデザイン、  
店舗設計等を行う  
東京都職業訓練指導員
- 1971 眼病のためデザイン設計を断念
- 1980 東京都府中市日本電気寮管理人となる
- 1983 東京都府中市にて手話講習を受ける
- 1985 手話グループ「はんず」を設立  
(現在も手話通訳者として活動中)
- 1992 府中市より富山県大沢野町に転居
- 1998 大沢野町タウンカレッジにて陶芸を受講
- 2001 円空学会 入会
- 2010 木工サークル入会 現代美術家協会「富山会賞」受賞  
大沢野小学校、大久保小学校、舟倉小学校で教育ボランティアを行う
- 2015 富山ねんりん美術展「審査員特別賞」「ねんりん賞」受賞
- 2016 富山ねんりん美術展「ねんりん賞」受賞



無題  
木 / 作家蔵



無題(2002)  
紙コップ、着色 / 作家蔵



無題(2006)  
陶 / 60 x 20 x 20cm / 作家蔵



無題(2003)  
陶 / 60 x 20 x 20cm / 作家蔵